

東京大学

理学部広報

第2巻 第10号 昭和45年11月15日

内 容

理学部会合日誌	2
教授会メモ	2
国立10大学理学部長会議	2
国立大学理学部長懇談会	3
教務委員会議事	3
理学部幹事の交代	3
外国人研究員	3
教官人事異動	3
理学博士学位授与者	3
学生関係	4

10月理学部会合日誌

- 7日(水) 11:30~14:00 情報科学の会, 13:00~15:30
主任会議
- 12日(月) 10:00~11:30 進学ガイダンス, 14:00~
17:00 理学系研究科委員会
- 15日(木) 13:00~15:00 教務委員会
- 19日(月) 14:00~20:00 定例学生大会(不成立),
16:00~19:00 院生大会(不成立)
- 20日(火) 16:00~18:00 学生大会
- 21日(水) 13:00~18:00 教授会
- 29日(木) 15:00~16:00 教授懇談会

教授会メモ

10月21日(水) 定例教授会
(13時~18時 於 化学大講堂)

1. 前回事承認
2. 人事異動等の報告(外国人客員研究員を含む)
3. 学士入学に関する件
4. 学生の転学科に関する件
5. 学生の休学に関する件
6. 研究生に関する件
7. 寄附の件
8. 教務委員会報告

委員長大木教授から複数に亘る学科の共通講義を中央の建物(1号館, 4号館, 化学館)で開講したらどうかについては実施しないことになった。情報科学に関する講義の実施, 情況並びに昭和46年度の特設クラスにおける進学定数等についての説明があった。(別項参照)

9. 教務関係について

学部長から日本育英会奨学生の事務手続のメ切りについて。末元教授から昭和46年度における教育実習の実施日について, および教育学部に教科教育法担当教官の非常勤講師問題に伴う選考委員会の設置等についての報告があった。

10. 会計委員会報告

高宮教授(委員)から45年度設備更新費配分案並びに旧奨学寄附金の条件変更について説明があり原案通り承認された。

11. その他

下記事項についての報告があった。

○理学系大学院生大会, 学部定例学生大会について

の経過報告

○本学に入試監視委員会, 入試実施委員会が発足した。

○情報科学連絡委員会が近く設置される予定である。

○大学院論文博士の学位取得資格年数が4年6ヶ月以上の研究歴があるものに改正された。

○アイソトープ総合センター規則の制定。

○図書館改革特別委員会が発足したこと。

○学内状況として, 文学部2教官の退職。地震研究所における教官と職員の問題。総長と東院協との交渉結果等についての報告並びに説明があった。

12. 学部長候補者選出の件

学部長の任期満了(11月4日)により講師以上の教官による無記名投票の結果理学部長の再任が決定した。

13. 生物化学教室の人事について

生物化学教室の5講座のうち4講座は, その担任教授が明年3月末をもって定年退官される。加えて現在, 助教授1の空席がある。これに関して, 生物化学教室主任江上教授から, 去る10月2日, 理学部長に書面をもって, 後任教授, 助教授の選考について配慮願いたい旨の申出があった。この申出に対応して, 教授会として小委員会を設けることになった。

○第34回国立10大学理学部長会議報告

標記の会議は昭和45年11月6日午前, 当番校東京教育大学において開催され, 北海道大学, 東北大学, 東京大学, 東京工業大学, 東京教育大学, 名古屋大学, 京都大学, 大阪大学, 広島大学, 九州大学の各理学部長, および理学部事務長がこれに出席した。

おもな報告と議事は次の通りであった。

1. 去る5月7日の第33回会議でまとめた要望書は去る7月17, 18日の両日関係方面に提出されているが, その経過について北大理学部長より説明があった。

2. 学部学生でいわゆる留年するもの(学部在学が2年をこえるもの)が増加する傾向がみられる事実について, 各大学の事情の説明と意見の交換があった。

3. 大学院博士課程を修了したものの就職は最近かなり困難になっている。また, 在学が3年をこえるものもすくなくない。これは, 大学院に関する重要な

問題の一つになっているが、これについて討論した。

4. 学振の奨励研究生の状況とその改善に関して議論があった。この制度が設けられた当初は、助手に比してもあまり劣らない待遇であったが、現在は相対的に悪くなり、また数も僅少である。これを改善することがまず緊急であるという意見が多かった。
5. その他、理学部における設備基準、学生定員の振替等に関して出席していた文部省関係者との間に質疑応答があった。

○国立大学理学部長懇談会

前項の会議に引続き、11月6日午後全国の国立大学理学部長の懇談会が東京教育大学において開かれた。この懇談会は、毎年1回開かれる例であったが、過去2年中断されていたのを本年再開することになった。従来は、前項の10大学に加えるに7大学であったが、この2年間に理学部の独立が進み、新たに理学部をもつ大学が10校増え(ただし埼玉大学、佐賀大学は理工学部)国立大学理学部は全国に27を数えるに至った。これらを列挙すれば前記大学以外に、

弘前大学、山形大学、茨城大学、埼玉大学、千葉大学、お茶の水大学*、新潟大学*、金沢大学*、信州大学、静岡大学、神戸大学*、奈良女子大学*、岡山大学*、愛媛大学、佐賀大学、熊本大学*、鹿児島大学である。*を付したものは修士課程をもつ大学である。

この日、午前中、これら17大学理学部長の会議があったので、そこでの議事の概要の報告があり、10大学理学部長会議で取上げた問題とあわせて論議された。財政、定員の問題、学生の就職状況等がおもな問題であった。

教務委員会議事

昭和45年10月15日に定例の教務委員会を開催し、次の諸点について検討した。

1. 昭和46年度進学生については、昭和46年5月より授業を開始するが、同年6月までは3学年分の学部学生が在学することとなるので、具体案については教室の事情などにより検討する。
2. 学部学生の学修科目届を調査して、各講義科目にどの学科の学生が聴講しているかをしらべた結果、かなりの数で、2号館と3号館との往来があり得ることが判明した。この種の講義科目については、

1,6号館、化学館地区で実施することも考えていたが、科目数が予想以上に多数に昇ったことと本年度から10時の休憩時間を15分にしたことを勘案して、来年度以降に再検討することとした。

3. 情報科学研究施設から、情報科学に関する講義をする用意があるとの申出があり、今学期からこの科目を設ける方向で、さらに検討をつづける。
4. 昭和45年度入学生に対する第4学期の問題、理IV設置に関する問題は、お互に関連する問題としてさらに検討することとした。次回の委員会においては、従前の経緯を聞く予定である。

理学部幹事の交代

11月1日をもって理学部幹事は次の新幹事に交代した。

- (長) 宮 沢 弘 成 教授 (物 理)
 山 崎 敏 光 助教授 (")
 青 本 和 彦 講 師 (数 学)
 玉 尾 孜 助教授 (地物研究施設)
 富 永 健 講 師 (化 学)
 山 上 健 次 郎 助教授 (動 物)
 阪 口 豊 助教授 (地 理)

外国人客員研究員

教室	国 籍	氏 名	現 職	在留期間
物理	アメリカ合衆国	Jeffries Wyman	ローマ大学客員教授	昭45.10.13 ~46.1.8

教官人事異動 (除退・休職)

氏 名	所 属	発令事項	発令年月日
本間三郎	物 理	講師に昇任	45. 9. 1
古屋 茂	数 学	教授に配置換	45.10. 1
古屋逸夫	地 物	助手に採用	45.10. 1
川 合 慧	情報科学	助手に採用	45.10.20

理学博士学位授与者 (45.9~45.10)

専門課程	氏 名	論文題目	学位授与年月日
生物化学	笠井久隆	リボスクレアーゼ T ₁ の構造と機能に関する化学的研究 (DHT, pDBS, AI, TNBS, および FDNB による化学修飾)	45. 9.14 (修了)

専門課程	氏名	論文題目	学位授与年月日
生物化学	中里 紘	Poly A Polymerase(s) in Rat Liver Nuclei	45. 9.14 (修了)

本学学位規則第3条2項該当者(論文博士)

氏名	論文題目	学位授与年月日
古田 悠	A Method of radiation dosimetry and its applications for gamma rays and neutrons	45. 9.14
宮田元靖	A Study of the Effects of Local and Distant Weather on Sea Level in Hawaii	45. 9.14
石田寅夫	Studies on the Structure and Function of Transfer Ribonucleic Acids	45. 9.14
矢島敏彦	The petrology of the Muroto-misaki differentiated gabbroic complex	45. 9.14
山口岳志	都市の機能に関する地理学的研究	45. 9.14
星 元紀	Biochemistry of mucopolids of sea urchin gametes and embryos	45. 9.14
河野 長	Intensity of the Earth's Magnetic Field in Pliocene and Pleistocene	45.10.12
山崎邦郎	Studies on the Radioresistance of Bacillus Spores	45.10.12

学 生 関 係

10月19日(月) 化学教室講堂において、理学系大学院生大会が午後4時から8時までの予定で行なわれたが、定足数に不足し不成立に終わった。

4号館講義室において定例理学部学生大会が午後3時

から8時までの予定で行なれたが、定足数に不足したため8時半頃散会した。

10月20日(火) 理学部学生大会が午後4時から7時までの予定で行なわれた。採決時の現在数134 委任状83 合計217(定足数182)で成立し、21日ストを含む常任委員会提案が賛成99 反対20 保留13で可決された。

10月21日(水) 昨日の学生大会決定にもとづき学部学生はストを行なった。ただし批准投票は行なわれなかった模様である。

昭和45年10月理学部進学者

数 学 科	46 名
物 理 学 科	72 名
天 文 学 科	5 名
地球物理学科	20 名
化 学 科	43 名
生物化学科	20 名
生物学科	・動物学課程 8名
	・植物学課程 8名
	・人類学課程 4名
地 学 科	・地質学鉱物学課程 13名
	・地理学課程 8名
	計 247 名

菅原正夫先生の逝去を悼む

元本学部数学科教授菅原正夫先生には昭和45年11月9日に交通事故のため逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

編 集

和田昭允(広報委員)
理・1号館217号室 内線2298